

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

		静岡県	
政策目的		漁港機能の高度化	
政策目標		漁港機能高度化目標	29-1
事業実施主体		大井川港漁業協同組合	
実施地区名		大井川地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	令和2年度
交付金額		16,283,000円	
事業計画の内容		海業支援施設の新設	
評価	成果目標	交流人口の増加	
	現状値	8,777人	
	目標値	18,680人	
	(1) 現状値の説明	大井川港産の「桜えび・しらす」のPRを図るため、漁協直営食堂を整備し、平成30年度13,591人、令和元年度は12,399人の来場があった。当施設整備後の平成30年からの桜えびが記録的不漁となり、また、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、営業期間の短縮等の影響を受けた。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	当施設オープン当時は盛況で2時間待ちの行列ができるなど、市内外から多くの来客があった。その後も安定的に来客があり、地場産品である「桜えび・しらす」の知名度向上、交流人口の増加に寄与したものと考ええる。また、当施設を中心に当地区に点在している飲食店や小売店を周遊するイベントを開催しており、地域経済の活性化に繋がっていると考ええる。	
	(3) 所見	桜えびの不漁、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値には達していないが、当地域への交流人口の増加、地場産品の消費拡大など、当施設整備による一定に効果が現れていると考ええる。	
	(4) 評価機関への意見等	該当なし	
	今後の改善方向等に関する分析		平成30年から続く桜えびの不漁については、本年の春漁において回復の兆しが見られている。また、新型コロナワクチンの一般接種が開始されており、収束後に向けて、当施設のPRを継続することにより、交流人口の増加を図ることができると考える。